

新原子力長期策定会議への意見書

委員長 近藤駿介様

新日本婦人の会福井県本部

福井県内には「もんじゅ」を含めて15機の原子力発電所があり、世界に例のない原発集中地となっています。

これまでに、蒸気発生器の細管破断事故や、放射能漏えい事故などたび重なる事故と、95年には「もんじゅ」のナトリウム火災事故、そして去年は関西電力美浜2号機で史上最悪の死傷事故が occurred。老朽化している県内の原発を運転しつづけることは、引き続き事故を引き起こす危険性を孕んでいます。

福井県民はいつも原発の事故の不安、生命の危険と隣り合わせの生活を余儀なくされています。「もんじゅ」の研究開発、運転再開は更にその危険性を増すことになり、生命を産み育てる女性として受け入れることはできません。

また、核燃料サイクルの推進はわが国を永久にプルトニウムの危険にさらすことにことにつながります。

「もんじゅ」の運転再開、核燃料サイクルの政策はやめてください。